

2017 年度第 6 回環境科学部フィールドスクール（12/2）「島原半島ジオパーク巡検」が行われました。

12 月 2 日（土）の第 6 回環境科学部フィールドスクールは、島原半島ジオパーク協議会事務局次長・大野希一先生の解説のもと、島原半島ジオパークの巡検を行いました。最初に訪れた千々石展望所からは、雲仙火山のすそ野が断層によって切られた地形を観察、次いで約 150 年前の火山のすそ野を利用した棚畑が見渡せる棚畑展望所、火山の土石流堆積物が波の浸食を受けた両子岩を巡りました。昼食を摂って午後からは、およそ 430 万年前、島原半島が海底火山の噴火で誕生した場所である早崎海岸を踏査、その後、雲仙温泉に移動し、旧八幡地獄周辺の散策を行いました。この巡検を通じて、島原半島の成立や火山とそこに暮らす人々との関わりについて学ぶことができました。



千々石展望所



棚畑展望所



早崎海岸



雲仙地獄